

K A W A K A M I D A M 2007
川上ダム通信 5月号

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661(代)
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

伊賀市長に平成19年度の事業概要を説明

～第6回 伊賀市長との懇談会を開催～



酒井所長から説明を受ける今岡市長

平成19年5月18日(金)に今岡睦之伊賀市長を始めとする伊賀市幹部の方々との懇談会を川上ダム建設所で開催しました。

この懇談会は、水資源機構の経営理念である、より良いサービスを行うため、顧客のニーズを的確に捉えることを目的として、当建設所が平成16年度から定期的に行っているものであり、今回で6回目の開催となります。

この懇談会では、酒井所長から平成19年度に行う付替県道の工事概要や県道松阪青山線の付け替え工事を平成19年度中に概成させることなどを説明し、その後、県道松阪青山線の付け替え工事工区内にある、ほぼ完成に近づいた4号橋の工事現場を視察して頂きました。

また、意見交換においては、今岡市長から事業の促進に向け早急に事業計画を固め、関係法定手続きを速やかに完了し、早くダム本体工事に着手して欲しいとの強い要望がありました。

事業の実施に際しては地域の声を聞きながら、今後もサービスの向上、地域のニーズを踏まえた事業展開に努めて参ります。



4号橋での工事概要説明

【総務課長 上村信幸】

「いがのみち女性会議」のみなさんが川上ダムを視察

平成19年5月15日(火)に、「いがのみち女性会議」(半田愛代表)の7名の方々が川上ダムを視察されました。

いがのみち女性会議とは、災害に強い道路造りを目指し伊賀地域における道路整備等について勉強をされていると伺っております。

視察は、当建設所において川上ダムの必要性(治水・利水)を説明した後、環境保全対策のためのオオサンショウウオの保護池を見学し、付替県道の道路工事現場(付替県道松阪青山線4号橋付近)を視察して頂きました。

川上ダム建設所では、このようにダム建設に付帯する様々な工事、例えば水没する道路の付け替え工事についても、地域の皆様にもっと良く知っていただくとう積極的な情報発信に努めています。

【副所長 青山太洋】



4号橋での説明の様子

会いたい！オオサンショウウオ！武豊町環境学習会で来所

5月13日(日) 愛知県武豊町から約40名の方々が川上ダム建設所を訪れました。これは武豊町が実施している環境学習会の一環であり、親子でオオサンショウウオと身近に接し、自然の大切さを学ぶことで、環境問題を考えてみようというものです。

子供たちは間近に見るオオサンショウウオに「かわいい！大きい！」と夢中になり、熱心に写真を撮っていました。保護者の方々からは、「オオサンショウウオの不思議な生態についてよくわかった。勉強になった。」という感想を頂きました。私たちも子供たちの純粋な心に触れ、改めて環境保全に取り組んでいこうと思いました。

【環境課 磯野正典】



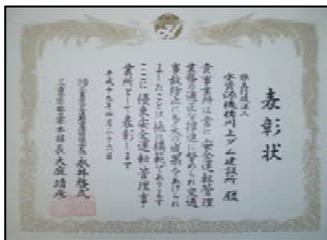
オオサンショウウオ保護池での説明の様子

事務所一丸となり交通安全“表彰される”！！

川上ダム建設所では、平成18年9月から3ヶ月間「安全運転管理推奨像」をお預かりしたのを契機に、秋の全国交通安全運動に伴う啓発活動への参加や川上ダム建設所内で交通安全や飲酒運転撲滅に関する標語の募集、交通安全啓発バッチの作成など、様々な交通安全に係る取り組みを行って来ました。

これらの活動が模範になるとのことから、この度、三重県警察本部長及び(社)三重県安全運転管理協議会長から、「優良安全運転管理事業所」として表彰されました。今後とも、当建設所では地域の信頼を損ねないよう心がけるとともに、常に「安全・安心」を念頭に置き職員一同事業に邁進してまいります。

【総務課長 上村信幸】



優良安全運転管理事業所の表彰状

第11回

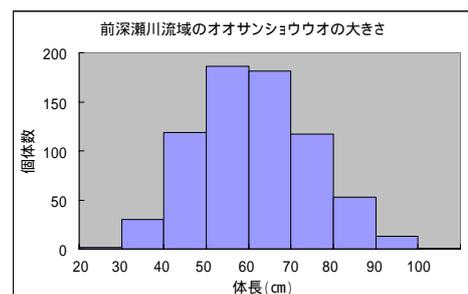
前深瀬川流域のオオサンショウウオの大きさ

ちよつとオオサンショウウオ！

前深瀬川流域(前深瀬川や川上川の本支川(調査区間延長約38km))でのオオサンショウウオの生息確認調査の結果をもとに、これまでに確認したすべての個体について、体長を10cm毎に分類すると、図のようになります。

一番小さいものは体長20cm台、一番大きいものは100cm台です。一番個体数が多いものは50cm台ですが、60cm台の個体も50cm台とほぼ同じくらい確認されています。オオサンショウウオの標準的な大きさは50~70cmと言われていますが、前深瀬川流域においても、全確認個体数のうち、体長50~60cm台の個体が半分を占めています。

見ることはできません。平成18年度の調査では体長90cm台のものを2個体も確認したのですが、こんな大きなものが日中一体どこに隠れているのでしょうかね。



(つづく)

夜行性であるオオサンショウウオは、日中ほとんど

【環境課長 大村朋広】

川上ダム事業進捗状況の紹介 付替県道松青線第5工区（その6）工事

現在施工中の「付替県道松阪青山線第5工区（その6）工事」について紹介します。

この工事は、19年2月から19年12月の320日間の工期で、延長約100mの道路を整備するものです。4月から本格的な工事に入り、現在は山の斜面を掘削する作業を行っています（右写真参照）。

今後は引き続き、掘削箇所の法面対策や谷部分の補強土壁の施工を安全・環境に十分注意しながら進めていきます。

地域の皆様にはご迷惑をお掛けしていますが、更なるご協力のほどよろしくお祈りします。



工事実施状況（H19.5.24撮影）

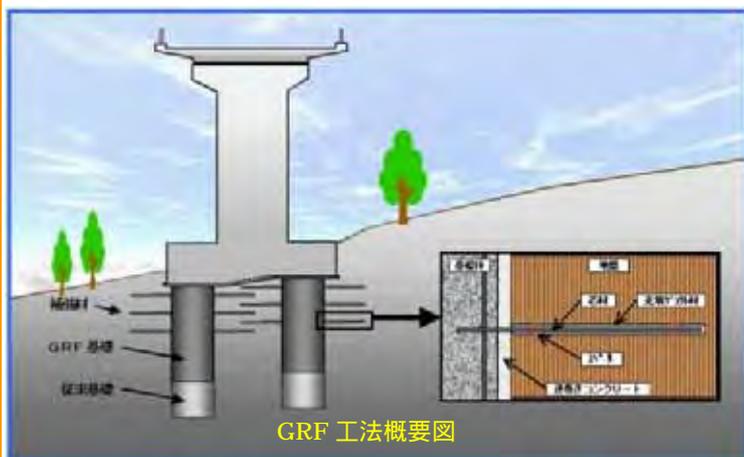
【工事課 金澤佑樹】

新技術の紹介

地盤補強型基礎工法「GRF工法」

今回は、地盤補強型基礎工法『GRF工法』を紹介します。

GRF工法は、ロックボルト状の補強材を周辺地盤に放射状に配置し、基礎本体に定着させる基礎工法です。補強材自体の抵抗力と共に周辺地盤の強化が図られて支持力が増加するので、従来の深礎基礎より基礎本体の寸法を縮小でき、コスト縮減が可能となります。



GRF工法概要図

この工法は、山岳地の橋梁基礎等に適用可能で、地盤は自立する土砂から軟岩までの適用範囲が広く、従来の基礎の施工サイクル内に補強材打設作業を組み込むことが可能となり、特別な作業員や仮設設備を必要とせず、工期短縮が図られます。

【国土交通省ホームページ：新技術情報提供システム（NETIS）より参照】

新緑とさわやかな風の中を力走！

5月27日(日)、青山高原で「第20回青山高原つつじクォーターマラソン大会」が開催されました。当日は好天にも恵まれ、健脚自慢の1100人以上もの参加者が新緑の高原を駆け抜けました。

川上ダムからは、3km、5km、10.55kmの各部門に計10人が選手として参加しました。高低差の激しい難コースでしたが、沿道の皆様の温かい声援や、他の選手の力走する姿に力をもらい、全員が完走することができました。

美しい新緑の高原と、眼下に広がる素晴らしい景色を見ながら汗を流し、充実した1日をおくることができました。

【環境課 磯野正典】



さわやかに駆け抜ける川上ダム職員

連載企画

最終回

《第 話その2 英雄・千方の伝説》

戦は朝廷軍の勝利となりましたが、豪雨のおかげで奇跡的に都の水不足は解消されました。難を逃れた朝廷は、阿保の里への懲罰を下しませんでした。これは慈悲深い千方の念が天に通じたため、と信じられています。

阿保の里・高尾ではその後、千方を偲んで『千方明神』を祀り、干ばつの際には、豪雨にちなむ雨

あおちかたこ
創作『阿保千方湖物語』

乞いの行事を行うようになりまし。また、雨乞いの石といわれる『卵石』は、千方が血首井に放り込んだ敵の首の化身とされています。

結局、巨大なため池計画は実現しませんでした。千方が計画の詳細を記した書物は、川上の『宝子伝説』の地に埋められていると伝えられています。
(完)

[川上ダム建設所編集]

EVENT

名張川クリーン作戦2007

名張川新町橋周辺のごみ収集及び水質浄化のための木炭を名張川に設置します。

川上ダム職員も参加予定です。

日時 / 6月3日(日) 9時30分～

集合場所 / 名張市新町橋下流右岸河川敷
(名張市新町)

皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。ハガキやメル等でどしどしお寄せください。

川上ダム建設所はISO14001を取得し、環境保全を推進しています。この広報紙は古紙配合率100%再生紙を使用しています。

編集後記

5月10日～16日は愛鳥週間となっていました。川上ダム建設所ではツバメが子育てをしています。親鳥が鳴いている子供にエサを運んで来る様子はとても微笑ましいです。



[広報誌発行事務局]

編集長 酒井 進 (川上ダム建設所長)

デスク 上村 信幸 (総務課長)

〃 北牧 正之 (工務課長)

通信記者 武村 剛泰 (総務課)

〃 立石 浩行 (調査設計課)

〃 磯野 正典 (環境課)



ISO14001 : 2004
JQA-EM5769